



vol. 09
2025 March

地域交流研究センター4部門活動報告

地域は、人びとが生まれ育ち、自然とかかわりながら暮らし、文化と歴史を刻みつけている現場です。そこには、自然・人間・社会のあり方を問い直す手がかりがあります。地域交流研究センターでは、4つの部門での活動を通して、地域全体をミュージアムととらえる「つるフィールド・ミュージアム」構想を推進していきます。ここでは4部門の1月～3月の活動について紹介します。



共生教育研究部門 つるぶんカフェ

つるぶんカフェとはまちのカフェに本学教員や学生、ゲスト講師などが集いアットホームな空間で専門のお話しをお聞きする会です。1月11日（土）には俳人の神野紗希さんをお招きし、「あまねく俳句～私を自由にする言葉～」というテーマでお話いただきました。

まちづくり研究部門

ぷらっとはうすプロジェクト

富士急行株式会社、都留市と連携し、無人駅の谷村町駅舎を活用して、毎週水・金曜日に、地域の子もたちと大学生との放課後の居場所づくりをしています。宿題をしたり、カードゲームで遊んだり、七夕やクリスマスなどの季節のイベントも行います。



冷たい風が吹く中、元気に外を駆け回る子どもたちに大学生のお兄さんお姉さんも必死について行きます。思い思いに楽しそうに遊ぶようすを大学生が見守っていました。

地域交流研究センターその他の活動

文大名画座 「帆花」上映会

12月18日（水）に学内で映画「帆花」を上映しました。医療的ケアを要する帆花さんご家族の日常を描いたドキュメンタリーで、子どもの教育や支援について考える機会となりました。



地域交流研究センターその他の活動

富士吉田市における御師文化の再活性化に関する講演 「富士山のため、地球のために立ち上がる 一般社団法人カノエサル」のやり方」

1月29日（水）に一般社団法人カノエサルのお2人をお招きし、御師文化の再活性化について話していただきました。かつて富士吉田市には、富士山を信仰する人々を先達する「御師」という者がいました。近年その文化は衰退していますが、カノエサルでは登山道の整備を行ったり、御師の家を宿泊施設にしたりと、文化存続のための活動を行っているそうです。



御師はじめ地元の方や行政の方など、たくさんのまちの人の理解が必要です。お2人の熱意に心動かされる地元の方も多いのだらうと感じました。



地域交流研究センターその他の活動

都留文科大学前駅展示活動が雑誌「散歩の達人」に掲載

2025年2月発行『大人のための首都圏散策マガジン 散歩の達人』に駅展活動が掲載されました。学生5人と展示の様子が映った写真が大きく掲載されています。ぜひご覧ください。



都留文科大学 WEB



地域交流研究センターX

4 部門活動 M A P

地域交流研究センターには、「自然共生研究部門」、「共生教育研究部門」、「まちづくり研究部門」、「グローバル交流研究部門」があります。この4つの部門では、私たちのくらしや自然との共生のありかたなど地域の現代的な課題に即して、自然科学や人文・社会科学といった領域を総合して取り組んでいます。それとともに、地域を担う次代の主体を育成することを目的としたさまざまな教育・研究活動を行なっています。

おもな活動色分け分類

- 教育関連活動（共生教育部門）
- グローカル関連活動（グローカル交流研究部門）
- 自然関連活動（自然共生研究部門）
- まちづくり関連活動（まちづくり研究部門）
- その他の活動

